

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年5月9日(2019.5.9)

【公開番号】特開2017-164159(P2017-164159A)

【公開日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-036

【出願番号】特願2016-50767(P2016-50767)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月25日(2019.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

後方からの光を前方に透過する透過性を有し、画像を表示する画像表示部材と、
前記画像表示部材の後方に位置し、後方を視認可能にする視認可能状態と、前記視認可能状態よりも後方を視認困難な状態にする視認困難状態とを、電気的に切り換える透過部材と、

前記透過部材よりも後方に位置する透過表示される対象と、

前記透過部材が前記視認可能状態の期間に、

前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも一部の領域に非透過画像を表示させる非透過画像制御と、

前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも前記透過表示される対象を見せる領域に透過画像を表示させる透過画像制御と、

を切り換える制御切換手段と、

を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載する遊技機において、

前記透過表示される対象は特定の形状を有するものであり、

初期位置となる第1位置から、動作位置となる第2位置に変位可能な可動体である、

ことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載する遊技機において、

前記透過画像は、前記透過表示される対象の形状を模した画像である、

ことを特徴とする遊技機。

【請求項4】

請求項1から請求項3のいずれかに記載する遊技機において、

前記透過部材が視認可能状態の期間に、

前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも一部の領域に非透過画像を表示させる非透過画像制御と、

前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも前記透過表示される対象を見せる領域に透過画像制御と、

を所定のタイミングで交互に切り換える交互切り替え演出を実行することにより、大当たりの期待度を示唆可能に構成されている、
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の遊技機は、
後方からの光を前方に透過する透過性を有し、画像を表示する画像表示部材と、
後方からの光を前方に透過する透過性を有し、画像を表示する画像表示部材と、
前記画像表示部材の後方に位置し、後方を視認可能にする視認可能状態と、前記視認可
能状態よりも後方を視認困難な状態にする視認困難状態とを、電気的に切り換える透過部
材と、

前記透過部材よりも後方に位置する透過表示される対象と、
前記透過部材が前記視認可能状態の期間に、
前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも一部の領域に非透過画像を表示さ
せる非透過画像制御と、
前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも前記透過表示される対象を見せる
領域に透過画像を表示させる透過画像制御と、
を切り換える制御切換手段と、
を備えることを特徴とする遊技機である。